

川崎縦貫道路等の早期整備について



(左より)城島衆議院議員・西岡会頭(会長)・寺尾副会長・和田副会長

平成22年7月30日

国土交通大臣
前原 誠司 殿

川崎商工会議所 会頭 西岡 浩史
川崎市の幹線道路の整備を促進する会
会長 西岡 浩史

川崎縦貫道路等の早期整備について(要望)

川崎市は首都圏の中央に位置し、優れた立地性を持つ拠点都市として首都圏機能の強化、連携を図るうえで重要な役割を担っているところです。

殊に、川崎臨海部は、東京湾アクアライン、東京湾岸道路、川崎縦貫道路等との首都圏交通クロスポイントとしては、未だ脆弱なため、羽田国際空港ハブ化及び京浜3港連携構想に大きな障害となっており、臨海部を始めとした主要企業、団体からは不満の声と施策の遅れを嘆く声が聞かれます。

つきましては、首都圏の国際物流力強化と潜在的な川崎のポテンシャルを首都圏へ波及し、川崎市の臨海部から内陸部へと効率的な広域都市ネットワークを形成する次の3点の幹線道路整備事業にご高配を賜りたくお願い申し上げます。

つきましては、我が国の国際競争力を強化し、市内の交通混雑の解消や沿道環境改善にも寄与する次の3点につきまして、ご高配を賜りたくお願い申し上げます。

1. 京浜臨海部から首都圏を環状で結ぶ「川崎縦貫道路と東京外かく環状道路東名以南との一本化」早期整備。
2. 川崎都心部の慢性的渋滞による経済的損失削減と環境改善を同時に図る「一般国道409号(国道15号～国道1号)の地下化バイパス」早期整備。
3. 羽田空港ハブ化と京浜3港連携強化を図る「一般国道357号(羽田国際空港～浮島ジャンクション～東扇島)」の早期整備。

以上